

月刊 かわごえ環境ネット

2015年9月号 No.107

<http://kawagoekankyo.net>

2015年9月2日発行 編集・発行：かわごえ環境ネット

コラム	川越の自然を訪ねて (35) キンランの成長と生態について.....2
	私のエコ暮らし (14) 環境省の 3R 活動からみた私のエコライフ..... 3-4
報告	かわごえ環境ネットの活動 (2 題) 4-6
	会員・流域の活動 (3 題) 6-8
	理事会・専門委員会からの報告 (3 題) 9-10
予告	かわごえ環境ネットの主催・出展・参加行事..... 10-12
	会員・関係団体の主催・関連行事..... 12-15
	広報委員会からのおしらせ..... 15
	イベントカレンダー (9月2日~10月10日) 16

【巻頭言】努力と忍耐は報われます

今年、雑木林の早朝観察を1か月半続けました。その目的は、ゼフィルスと春の渡り鳥を観察することでした。この結果、今福のヤマには3種類のゼフィルスが生息していること、ミズイロオナガシジミは2か月間林で生活していること、生息数を減らしているウラナミアカシジミが14頭生息を確認したことなど、貴重な観察結果を得ることができました。おまけにアキアカネの群れが大雨から避難しているところ、渡り鳥のキビタキの雌雄が繁殖していること、オオタカが1羽巣立ったことなど観察できました。

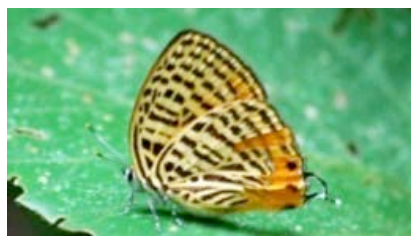
ここまででは個人ができる取組ですが、これで満足しては環境問題への寄与は少ないのではないかと思います。これをまとめて、さらに広め、ほかの人とのデータを蓄積・統合するデータベースの構築になると、一歩社会性を獲得することに近づくのかもしれない。さらに、「生きものとその環境の関係」を明らかにし、その保全や実践を呼びかけ、不断の努力を行うことが、多様性の保全につながり、社会的に役立つ仕事となります。

環境問題は、市民参加が必要な活動ですが、目に見えるほど広がっていない現状があります。これを改善するために、市民が関心を持てる身近な市民環境調査、誰でも気楽にできるエコ暮らしなど、私たちが築いてきたツールとスキルを生かしながらそれぞれが活動領域を広げ、市民や他団体との結びつきを強めて本会本来の柔軟性を再構築する必要に迫られています。

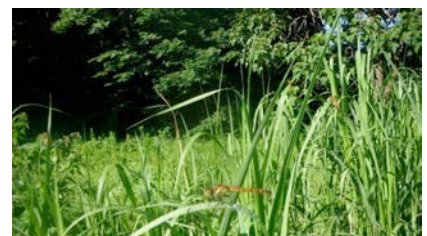
人に与えられた時間は有限ですが、ネットワークの広がりは無限に近いようです。地道な努力と忍耐はいつか報われることを期待したいものです。 (かわごえ環境ネット副理事長 過昌司)

ゼフィルスの頭数

チョウの種類	期間	最大頭数
アカシジミ	5月18日~	4
ウラナミアカシジミ	5月21日~	14
ミズイロオナガシジミ	5月28日~	6

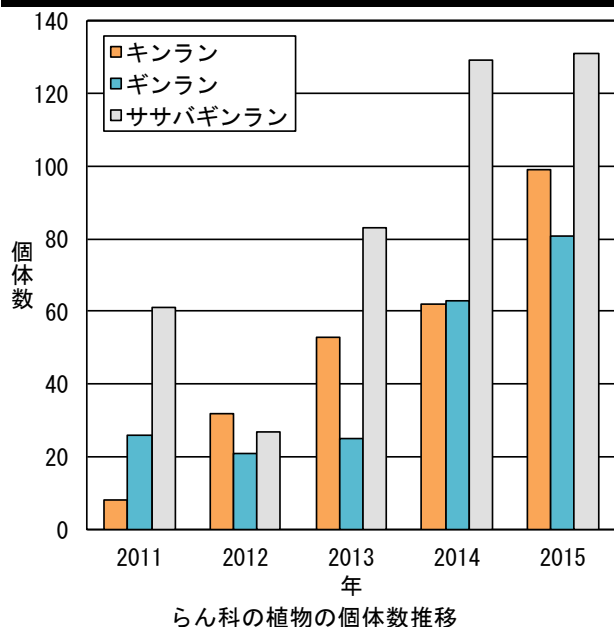


ウラナミアカシジミ



アキアカネの群れ (6月20日)

【コラム】川越の自然を訪ねて (35) キンランの成長と生態について



キンランの実

雑木林の生態系に適応したらん科の植物はキンラン、ギンランなど5月の林床に彩りを添えます。雑木林が人の手によって造られてきてから300年以上変わらない風景でした。しかし、この風景がこの20年くらいで変わってきています。

人が気楽に入れ、子どもたちが安心して虫取りなどで遊べた林は、シノ竹や常緑低木それにモウソウ竹が繁茂して人の侵入を拒むようになっています。そのためにキンランなどのらん科の植物は絶滅危惧種になっています。本当は、雑木林が絶滅危惧の林なのです。

この危機を救うために、林の手入れとキンランなどのらん科の植物を調べてきました。今福のヤマでは、循環型農業に用いている林で下草刈りや「くずはき」の作業を行いながら観察を続けて、キンラン、ギンランなどの生育状況を調べてきました。

5年間の結果は図のとおりで、らん科の植物は増加しています。これは雑木林の伝統的な手入れがらん科の植物にとって適応的かつ順応的なことを示しています。観察している林の半分は、10年前は荒れ放題でしたが私達の手で刈り払い、キンランなどが増えてきました。

いつも疑問に思っているのはキンランなど何年で花が咲くのか？1年でどの位成長するのか？花の数と生育年数は関係があるのか？など基本的なことがわからないので、群集としてその答えがでるのか観察してみました。結果は集団で茎の高さと花の数を調べ、図表で3年間比べてみましたが、年間の成長量がわかりませんでした。

この中で、茎の高さが20cm以上になると花をつけ、40cm以上になると実をつけることがわかりました。

また、1株あたりの面積は250m²になります。

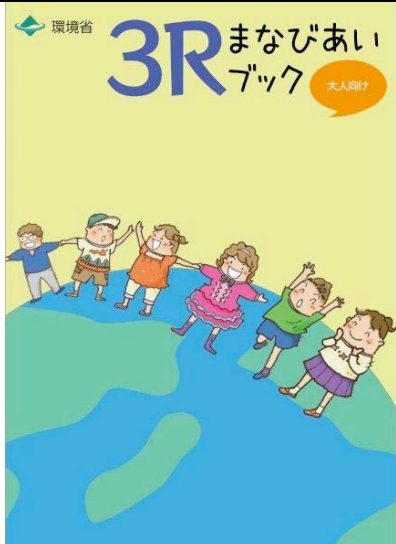
キンランは樹木共生菌である菌根菌との共生で窒素源の5割を供給されており、樹木が作る栄養を、菌を通じて間接的に摂取して生きることが知られています。

雑木林のらん科の植物は、樹木、菌、キンランなど連携しつながら生きています。絶滅危惧種の保全再生方法には伝統的な知恵が必要なのをキンランなどは教えているのでしょう。

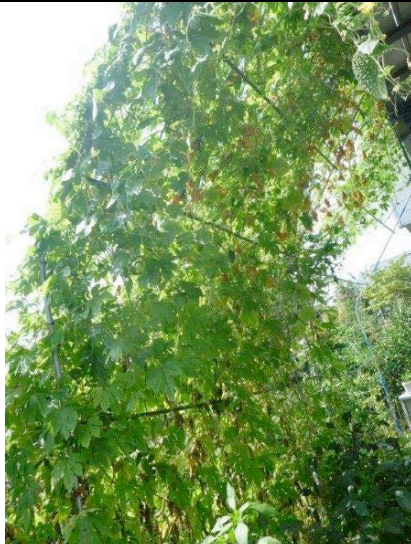
美しいだけでないらん科の植物との付き合いはまだまだ続きそうです。

(今福在住 過昌司)

【コラム】私のエコ暮らし (14) 環境省の3R活動からみた私のエコライフ



『3R まなびあいブック』



ゴーヤ棚



パッションフルーツ棚

8月2日(日)につばさ館で開催されたエコプロダクツ川越2015の展示の中で「3R活動推進フォーラム」で偶然目にした「3R まなびあいブック」を読み、私のエコライフ実践状況を自己評価してみた。

まず、3R(スリーアール)とは、リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)の3つのR(アール)の総称である。

「リデュース」とは、物を大切に使い、ごみを減らすこと

例(1) 必要ない物は買わない、もらわない

例(2) 買い物にはマイバッグを持参する

「リユース」とは、使える物は繰り返し使うこと

例(1) 詰め替え用の製品を選ぶ

例(2) いらなくなった物を譲り合う

「リサイクル」とは、ごみを資源として再利用すること

例(1) ごみを正しく分別する

例(2) ごみを再生して作られた製品を利用

循環型社会・低炭素社会・自然共生社会の3分野別にエコチェックテストを行った。

(1) 循環型社会への取り組み

① 詰替え製品の選択とマイバックの利用：○

② 修理して長く使う：○ 家電製品が故障した場合買い替える前に故障原因を調べて修理可能か判断する。ちなみに掃除機の延長ホースは長年使うと蛇腹部分の破れや接触不良が多発する。

その場合ガムテープなどで補強や配線部分のはんだ付けなどして長く使っている。見た目は悪いが機能はしている。

(2) 低炭素社会への取り組み

① 冷暖房を控える：○ 夏：基本は扇風機利用とし室温が35℃を超えるとエアコンを28-30℃で利用、冬：基本厚着、室温が18℃未満になると居間のみヒーターを入れるが、個室では厚着+下半身暖房袋(不要の電気敷き毛布と毛布を縫い合せて袋状に自作した。改良を重ねて3年間愛用している)

② 家電製品の主電源を切る：○ 落雷対策にも

③ エコドライブの実行：○ エコ教習の実践

④ 近場へのマイカー利用を自粛：○ 自転車他

⑤ 窓の断熱：○ スダレの利用と窓ガラスに、断熱材の貼付

⑥ 緑のカーテン：○ 花畑を転用した狭い菜園のため空間を「緑のカーテン」として利用している。年々ネット数を増やし、今年は4つのネットにゴーヤ・パッションフルーツ・キュウリ・インゲン豆・キナーノなどのつるもの野菜を植えている。

⑦ 太陽光発電・カーシェアリング：× 住宅事情・投資対効果が不明などの理由から未実行

(3) 自然共生社会への取り組み

① 旬の野菜や地のものを優先購入：○ JA直売所やスーパーで「〇〇家のトマト」など地元農

家の野菜を購入

②身近な生物の観察や自然とふれあう：○ 登山・森林公園かんさつ会や魚類調査など

③自然の再生・保全活動への参加：○ 森林公園で希少植物の保護活動に参加

④農薬や化学肥料の使用量を減らす：○ 野菜くずを使った EM ボカシ肥料・ミミズ堆肥や落

葉堆肥などを家庭菜園に利用

⑤環境に配慮した商品を優先的に購入：△ 今後勉強して実行したい

これからも、生れながらの貧乏性に磨きを掛け「もったいない精神」でエコライフを継続していきたい。
(高橋啓二)

【報告】かわごえ環境ネットの活動

虫の観察会報告

自然環境部会



講師に聞く



見つけたよ



地中のクモをさがす

日時：7月26日（日）9:00～12:00

参加者：20名

場所：「(仮称)川越市森林公園」計画地

講師：大塚豊(自然写真家、日本野鳥の会東京)、平松毅久(埼玉県レッドデータ検討委員)、谷津弘子(NPO 武蔵丘陵森林公園の自然を考える会)

この虫の観察会も回を重ねて13回目になります。夏休みに入ってしまうので、大抵は虫網を持った子どもと親御さんの参加です。

今年は、7月前半は雨続きで気温が上がらず虫の成長は遅れ気味でした。後半は暑い日が多く当日も36℃まで上がりましたが、雑木林の中はそれほどでもなく気になる暑さではありませんでした。「(仮称)川越市森林公園」計画地の雑木林は濃い緑に覆われ、梢から射す光が地面にくっきりと影をつくります。さあ、これから隠れるのが上手な虫をたくさん見つめます。

すぐに気がつくのがセミです。雑木林一帯が蝉時雨に満ちていて、ニイニイゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシ、アブラゼミが確認されました。

セミは7年(2～3年のもあり)も土の中にいて地上に出てきたら鳴くだけ鳴いて卵を産んで、1週間ほどで人生が終わるそうですが、生態的にどんな役割があるのだろう、と疑問に思うことがあります。

「森のさんぽ道」を入ってすぐの草地ではバッタやコオロギの仲間が見つかりますが、この時期はまだ子どもで、体長も短く翅が未熟です。バッタ類は網を持った子どもたちが捕まえる格好の相手です。素手で捕まえてしまうお子さんもいました。この雑木林は、畑や草地もある環境なので虫の種類も多いです。チョウの仲間も見つけやすく、この日は12種ほど確認されましたが、最近異常に増えているのがアカボシゴマダラです。ここ数年、倍倍のスピードと感じます。見た目には美しいのですが、生態系攪乱種なのでどうなのでしょう。

虫のいるところはクモも共存しています。一番目につくのはジョロウグモで、大きな網をはるのでおなじみですが、実は他にもたくさんの種類がいます。今回はクモを研究している平松さんが19種ほど確認しました。イソウロウグモ

とって、ジョロウグモなどの網の端っこに鎮座していて、獲物をちょっといただくクモを紹介していただくと、「人間社会みたい」と笑いをさそいました。興味深いクモの生態を聞き、いやな存在であったクモが、みなさんをひきつけたようです。

子どもたちに人気のカブトムシ、クワガタは、昼間はあまり見つかりません。でも頭部だけの残骸はかなり見つかります。カラスが餌にしているのは間違いのないようです。昔は子どもが昆虫採集していたカブトムシを、今はカラスが横

取りしているようです。

この雑木林では300種の昆虫が過去に調査確認されています。今回もわずかの時間でしたが、表のように多くの種が見つかりました。野生の生き物はそれぞれの種に応じた環境に依拠して生息しているので、人間が特定の環境だけに整備してしまうと彼らは行き場を失います。様々な多様な環境のあるこの雑木林は、多くの生き物のオアシスです。そっと地面を見つめると、そこにはたくさんの生き物が命をつないでいます。

観察された種 (2015年7月26日)

チョウ目 12	モンシロチョウ	(コウチュウ目 目続き)	オオヒラタシデムシ	(バッタ目 目続き)	モリノチャバネゴキブリ
	スジグロシロチョウ		オオクシヒゲコメツキ		ササキリ
	イチモンジチョウ		ノコギリクワガタ (死骸)		クサキリ
	テングチョウ		クロカナブン	トンボ目	マダラカマドウマ
	アカボシゴマダラ		エリザハンミョウ	クモ類 19	ウスバキトンボ
	ヤマトシジミ		マメコガネ	デーニツツハエトリ	
	コシロシタバ		ヒメコガネ	オナガグモ	
	オニベニシタバ		ヨツボシケシキスイ	ワスレナグモ	
	メイガ sp		ナミテントウ	ユウレイグモ	
	コムスジ		キマワリ	カタハリウズグモ (?)	
	キタテハ		カメムシ目 8	ニイニイゼミ	センショウグモ (卵のう)
	クロヒカゲ			ミンミンゼミ	チリイソウロウグモ
ハエ目 2	ムシヒキアブ		ヒグラシ	カグヤヒメグモ	
	シオヤアブ		アブラゼミ	オナガグモ	
ハチ目 4	ホソアシナガバチ		スケバハゴロモ	ニホンヒメグモ	
	ニホンミツバチ		アミガサハゴロモ	オオヒメグモ	
	クロオオアリ		アオバハゴロモ	クロマルイソウロウグモ	
	クロヤマアリ		セアカツノカメムシ	コシロカネグモ	
コウチュウ目 16	クワカミキリ (死骸)	バッタ目 10	オオカマキリ	キララシロカネグモ	
	キマダラカミキリ		ナナフシモドキ	ジョロウグモ	
	ゴマダラカミキリ		ハラヒシバッタ	ナガコガネグモ	
	オオスジコガネ		ノミバッタ	ウツキコモリグモ	
	ハムシ sp		クビキリギス	コクサグモ	
	カブトムシ (死骸)		エンマコオロギ	アズチグモ	
合計				72種	

エコプロダクツ川越 2015 報告

8月2日(日)、「エコプロダクツ川越 2015」が1,200名超の来場者とともに行われました。昨年は1,300名を超えていたので、ちょっと少なめ、夏休みに入ってすぐの方が多いいいのは、夏休みの課題探しに関係???

このイベントは、毎年日程が変わりますが、今年も、かわごえ環境ネットとして使用する場所の拡大をお願いしての参加となりました。参加内容は、昨年に引き続いてのワークショップ

と新規4ブース(伐採木の木工・外でのペットボトル飛ばし実験・各種発電機による電気の勉強・ワットチェッカーによる節電実験)を加え、2部屋をフル活用しての1日でした。

もう一つ、かわごえ環境ネット会員である事業者の環境活動をパネル展示し、今年の5月から会員になられた「初野建材工業株式会社」は、初野社長さんと関さんが説明に参加してくださいました。

今回も普段の会議などではお目にかからない方々の活躍で「かわごえ環境ネット」のブースが賑わったことに感謝します。ありがとうございます。使用する材料の提供に協力いただいた、芳野「東清掃センター」の村上さん（ペットボトル回収協力）、氷川会館「はこねフローリスト」さん（キャンドル提供）ありがとうございます。来年もよろしくお願いします。

また、昨年から表彰することになった「環境

ネット賞」の作品を3点選びました。川越市の全ての小中学校が参加しているわけではないので、それぞれの学校の特色があり、選ぶのに苦労しました。絵画のタッチも高学年になると悲観的な絵も多かったので、できるだけ明るい未来を連想させるものを選びました。

「今の環境は子ども達からの預かり物」なので、暗い未来にならないよう願うばかりです。

(横山三枝子)



廃油石鹸作り



各種発電型による電気の勉強



「環境ネット賞」中学生の部



ペットボトルロケット作成中



東洋大学 木工作



「環境ネット賞」小学生の部

【報告】会員・流域の活動

親子向け「里山体験と木工教室」

8月8日(土) 9:30-12:30に東洋大学川越キャンパスにおいて、親子向け「里山体験と木工教室」を開催し、参加者の家族、学生、スタッフ合わせて28名が参加しました。こもれびの森で材料を切り出し、あらかじめ用意した材料も含めてネームプレートやバードコール、その他さまざまなものを創意工夫で製作しました。

今月9月・10月は森林整備施業として下刈りやこれまで伐採した枝等の片付けが中心となりますが、11月2・3日の大学祭「こもれび祭」に出展して、キャンパスの森体験会、木工教室、コナラ幼樹の植え付けなどを実施する予定です。

(小瀬博之)

こもれびの森・里山支援隊



樹木の切り出し



木工教室の様子

COP10 愛知ターゲットの生物多様性目標達成を目指して かわごえ里山イニシアチブ



生きものを育む有機稲作ポイント研修

ラムサール・ネットワーク日本が主催（後援：WWF ジャパン/日本野鳥の会/日本自然保護協会国連生物多様性の10年市民ネットワーク/IUCN 日本委員会）する湿地のグリーンウェイブ2015の2015年のテーマである「自然と共に生きる～湿地を守り賢明に利用しよう」の8月13日（木）の活動紹介記事で、かわごえ里山イニシアチブの活動が掲載されました。（「湿地＝田んぼ（水田）」という理解でお読みください）
<http://www.ramnet-j.org/gw/report2015/rp15-050.html>

かわごえ里山イニシアチブは、2020年の愛知ターゲット（第10回国連生物多様性条約締約国会議）の目標達成を目指した田んぼ活動をしており、その活動の一端を紹介しました。ラムサール・ネットワーク日本の湿地のグリーンウェイブの参加イベントとして、全国の自然観察会や生きもの調査、シンポジウム、田植え体験を紹介していますが、かわごえ里山イニシアチブは、今年度、これらのすべてのイベントを網羅した活動を行ったこととなります。

ラムサール・ネットワーク日本では、今後の湿地のグリーンウェイブ活動を次のように位置付けています。



生きもの学習会

「昨年10月には韓国で生物多様性条約第12回締約国会議が開催されました。そこで行われた愛知ターゲットの中間評価では、2020年の目標達成のためには、現在行われているよい取り組みを継続し、倍にしていくことが必要とされました。愛知ターゲットの長期目標である「人と自然の共存する社会」や、湿地を保全し賢明に利用するというラムサール条約の考え方をさらに広げ、主流化することが今、求められているのです。このことから、湿地のグリーンウェイブ2015のテーマは、湿地保全の原点に戻り、「湿地を守り賢明に利用しよう」としました。

グリーンウェイブを通して湿地の生物多様性に関する理解が広がり、愛知ターゲットの達成につながるよう、みなさまのご協力、ご参加をよろしくお願ひします。」としています。

かわごえ里山イニシアチブでは、今後も「生きものと共生する田んぼ活動」で、ラムサール・ネットワーク日本の活動に参加し、愛知ターゲット達成の一助になることをめざします。

かわごえ環境ネットも生物多様性の愛知ターゲット目標達成のためにその一翼を担っていきましょう。（増田純一）

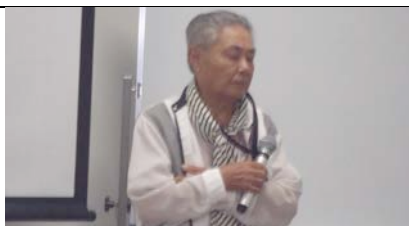
◆かわごえ環境ネット会員募集 会員になると、本紙「月刊かわごえ環境ネット」を毎月お送りします。年会費は個人会員1,000円、団体会員2,000円です。詳細は、かわごえ環境ネット事務局に問い合わせるか、Webサイト（<http://kawagoekankyo.net>）をご覧ください。



「川の景観づくり講演会」報告 新河岸川上流部の歴史と自然を訪ね



実地調査の写真で説明する岡田教授



「川越舟唄」を歌う渡辺さん



溝尾さん松尾さんを加えて討議

1) 川で地域の連携

川越市から和光市を流れて隅田川まで通じる新河岸川を、景観の視点からその魅力を再発見しようと思った「新河岸川広域景観づくり」の活動も8年目を迎えました。2008（平成20）年に埼玉県県の県土企画室の呼びかけで、川越市から和光市までの流域各市の環境関係団体が、県との協働で、川の美化活動、サイクリングマップ作り、カヤック体験などの活動をしてきました。その後、担当が田園都市づくり課にかわり、2013（平成25）年度から、参加団体や関係者で「新河岸川広域景観づくり連絡会」と独り立ちして活発な活動を続けています。昨年7月に埼玉県の環境アドバイザーで、日本大学工学部まちづくり工学科の岡田智秀教授に、朝霞市の図書館で第1回目の「川の景観づくり講演会」をお願いし、志木市から下流の新河岸川を対象として数々の助言を頂きました。

2) 第2回目の「川の景観づくり講演会」

今年は、上流部の川越市からふじみ野市までの自然の変化にとんだ流れを「自然と歴史を生かした景観整備」の視点から、貴重な提言をお願いしました。講師の岡田教授は、今年から埼玉県景観審議会委員にも就任、7月6日（月）に関係者ら11人で新河岸川起点から流れに沿って事前調査を行いました。その成果を生かした「第2回川の景観づくり講演会」を7月26日（日）13:30からウエスタ川越3階の川越市男女共同参画研修室で行いました。

最初に、「水辺の景観から自然らしさがなぜ失われてきたのか」と問題提起をされ、数々の写真が映し出され、「人と多様な生物が集う水辺本来の空間」への関心を高めてから本題に入りま

した。まず、野田町の新河岸川起点からの写真をもとにまとめたA4判16ページのパンフレットとスライドで説明を受けました。

3) 8か所に要点を整理

①野田町・起点の石碑を生かしたランドマークを・蛇籠による護岸整備と自然再生②月吉町～黄金橋・川辺散策路のマップ化・星野高校周辺景観・水車の記憶風化③末広町・赤間川公園（通称パンダ公園）の親水公園化・飛び石サウンド活用・「赤間川」の川名の復権④田谷堰・堰と橋が語る水利文化・周辺公園化⑤宮下町・土手と木杭と桜が一体になった堤・史話に沿った橋や葦原の見える化⑥仙波河岸史跡公園・湧水の再生と河岸場の保全⑦寺尾調節池・豊富な生態系と木道で環境教育フィールドに⑧福岡河岸と緑地公園・河岸記念館、舟問屋、古墳群、川岸緑地の回遊空間など。

4) 川越舟唄と質疑応答も

新河岸川と言えば舟運と連想されますが、その昔の状況をほうふつさせる「川越舟唄」が、寺尾在住の渡辺さんから紹介されました。情緒たっぷりの歌詞も参考に手渡されました。後半は、川越市総合計画審議会会長の溝尾良隆さんと郷土史家の松尾鉄城さんを交えて、それぞれの専門の立場からの感想を頂き、岡田講師とともに会場からの質問に答えました。

環境と自然にやさしい川越市のまちづくりに、水辺の潤いを加えたいと、川越市議会の吉田議長のあいさつもいただきました。共催の西埼玉温暖化対策ネットワークとNPO法人埼玉県まちづくりサポーター協議会の会員も多数参加し、有意義な講演会は17時近くに終わりました。

（武田侃蔵）

【報告】理事会・専門委員会からの報告**事業運営委員会**

第3回事業運営委員会を8月24日(月)10:00-12:10に、福田ビル3F会議室において開催しました。出席者は7名でした。主な議事は次のとおりです。

1.報告事項**①エコプロダクツ川越 2015**

- i) 参加者は1,208名(公式発表)
- ii) おおむね盛況であった。
- iii) 問題点としてスタッフ不足があり、会員のさらなる協力要請が必要であった。

②水辺と川の小委員会

- i) 調査活動を3回実施した。
- ii) 新河岸川景観づくりの講演会が7月26日(日)開催され、44名の参加者があった。

③2015アースデイ・イン・川越 立門前(後援)

10月4日(日)連馨寺周辺で行われる。出展者は昨年とほぼ同じ。スタッフを募集しなければならない。

④新かわごえアジェンダ 21 検討会

8月28日(金) 市役所 7G 会議室で17:00-19:00に開催される。

2.検討事項**①第14回かわごえ環境フォーラムの開催**

i) 開催日:2016年2月20日(土)会場:未定。内容:午前は環境活動報告会、午後はワールドカフェ形式での話し合い。交流会はなし。

ii) 目的:川越市民の環境に対する関心を高める。参加人員を増やす。

- ・川越の近くに住む住民を多く呼びたい。
- ・未来の川越の環境はどうあるべきか。
- ・あまり環境の理想像を語っても関心は持たない。

・よい自然がなければ、よい街づくりはできない。農業の見直しもテーマに。

・農業→食→環境→川越の食を楽しむ

iii) 今後の予定

- ・講師候補者選定
- ・テーマの絞り込み

iv) 川越に特化したツアーを昨年議論したが、どんなツアーが実際実行されたか、飯島委員がまとめる。

次回は9月25日(金)9:00-10:30福田ビル3F会議室で開催されます。

(副委員長 村上正明)

社会環境部会

8月定例会は8月14日(金)福田ビル3階にて8名の参加で行いました。

1.報告事項**①事業委員会・理事会の報告**

本紙8月号p.9の補足説明(原嶋さん)

②郊外まち美化活動(7/19)

本紙8月号p.4の補足説明(菊地さん)

長い背丈の草が気になった。今後は近隣の住民の参加をお願いしたい。

③川の景観づくり講演会(7/26)

主催:新河岸川広域景観づくり連絡会ほか
講師:日大岡田教授 講師等も含めて44人と

盛況であった。(武田さん)

④エコプロダクツ川越 2015(8/2)

環境家計簿・緑のカーテン・手回し発電・廃油石鹼作り・箸作りなど子供さんに好評だった。(原嶋さん)

2.進捗状況の報告**①環境施設めぐりの進捗状況(9/5)**

2 施設下見(7/25)の状況報告 行程案内文章の説明と当日の協力要請(高橋)

募集定員35名受付済み(伊藤さん)

②2015アースデイ・イン・川越 立門前(10/4)

実行委員会議事録の説明と環境ネットからは、

恒例のパネル展示とエコドライブ体験用にドライブ・シミュレータを設置予定（菊地さん）

③北公民館かんきょう祭り（11/14）
実行委員会を毎月開催中（原嶋さん）

④環境講演会（11/28）
9月10日（木）に講師（早大小野田准教授）と詳細打合せ予定（原嶋さん）

⑤私のエコ暮らし（月刊紙）投稿者の確認

3.その他

来年度の部会代表と社会環境部会のあり方など来月の部会で打合せたい（原嶋部会代表）
（社会環境部会 代表：原嶋昇治、報告：高橋啓二）

かわごえアジェンダ 21 推進委員会

「新かわごえアジェンダ 21 検討会」(第5回)を8月28日(金)17:00-19:20に川越市役所本庁舎 7G 会議室において開催しました。出席者は会員から10名、川越市役所から5名の計15名でした。

今回は、8月26日(水)から9月24日(木)が「(仮称)第三次川越市環境基本計画及び(仮称)川越市緑の基本計画(平成28年3月改定版)」(原案)に対する意見募集(パブリックコメント)の期間であることから、内容の理解と情報共有のための意見交換を行いました。

審議結果については、Wiki (<http://wiki.kawagoe-kankyo.net/>) の「新かわごえアジェンダ 21 検討会第5回(20150828)」をご覧ください。

今回の検討会では、全体的な意見が多く出されましたが、具体的な意見がある場合は各自がパブリックコメントに応募することとして、本会としての意見の集約は行わないこととしました。

みなさまも原案をご覧いただいた上で積極的に意見応募をしてください。この計画が川越市の平成28年度から平成37年度までの10年間の環境政策の基本となります。

(27-04)「(仮称)第三次川越市環境基本計画及び(仮称)川越市緑の基本計画(平成28年3月改定版)」(原案)に対する意見募集

http://www.city.kawagoe.saitama.jp/shisei/ikenkobo/ikenkobo_genzai/kankyokeikakupabukom.html

(以下、上記ページから抜粋)

参考資料の閲覧

・電子媒体での閲覧 参考資料は、Web から閲覧、保存、印刷ができます。

・紙ベースによる閲覧場所 市役所5階環境政策課、各市民センター、南連絡所

意見を提出できる方

- ・市内に住所を有する方
- ・市内の事業所等に勤務する方
- ・市内の学校に在学する方
- ・その他この案に関し利害関係を有する方

提出方法

・直接持参(土・日・祝日を除く、午前8時30分から午後5時15分まで)川越市役所5階環境部環境政策課

・郵送(9月24日(木)(必着)〒350-8601川越市元町1-3-1川越市役所環境政策課、Fax.049-225-9800

・Web ページから電子申請によりお申し込みください。(委員長 小瀬博之)

【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・参加行事

【トピック①・後援】2015アースデイ・イン・川越 立門前 10月4日(日)開催

アースデイのローカル版として17回目の開催を迎えた「2015アースデイ・イン・川越立

門前」は、10月4日(日)開催で準備を進めています。地元のお店会の協力を得ながら、環境

ネットワーク埼玉などの新しい参加者を加えて、蓮馨寺、熊野神社、旧鶴川座、旧川越織物市場の4会場で開かれます。

今回は、世界平和・人類共存・地球環境・水と緑など、アースデイの理念を表した短歌・俳句・川柳・都々逸・標語などの文芸作品募集を呼び掛けました。かわごえ環境ネット会員の積極的な応募を期待しております。

また、例年実施している会場内でのアンケート協力や、川越まつりごみ拾いなどのボランティア活動への「アース」支給で、地域通貨の実験活動を引き続き行います。テーマの「水と緑と伝統のまち 川越」を象徴する、笠幡の水田風景をアレンジした斬新なPRちらしが、9月中旬から広く配られる予定です。ホームページもできていますのでご活用ください。

<http://www.geocities.jp/earthdayinkawago/>

(Facebook ページもあります)

(実行委員長 武田侃蔵)



【トピック②】環境講演会「(仮題) 環境未来都市について」11月28日(土)開催

社会環境部会は11月28日(土)に環境講演会を開催いたします。今年は(仮題)「環境未来都市について」のテーマで、講演とパネルディスカッション行います。広報川越(10月25日号)に掲載し告知いたします。多くの方の参加をお待ちしております。

○演題：(仮題) 環境未来都市について

○講師(予定)：早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 小野田弘士准教授

○日時：11月28日(土) 13:30-16:30

○会場：ウエスタ川越2階市民活動・生涯学習施設会議室1・2

詳しい情報は、本紙次号に掲載いたします。

会合

●社会環境部会 (2015年9月度)

日時：9月11日(金) 13:00-15:00

●自然環境部会 (2015年9月度)

日時：9月11日(金) 15:00-17:00

場所：福田ビル3階会議室(川越市郭町1-2-3)

*両部会は、毎月第2金曜日の13:00-15:00, 15:00-17:00の連続開催

*次回は10月9日(金)同所

*会員ならばどなたでも参加できます

◆広報委員会 (2015年9月度)

日時：9月14日(月) 9:00-10:00

場所：川越市役所5階フリースペース(川越市元町1-3-1)

●新かわごえアジェンダ21検討会(第6回)

日時：9月24日(木) 17:00-19:00

場所：東洋大学川越キャンパス第5会議室(福利厚生棟)(川越市鯨井2100)

*会員であればどなたでも参加できます

*次回は10月29日(木) 17:00-19:00 同所

◆事業運営委員会(2015年度第4回)

日時:9月25日(金) 9:00-10:30

場所:福田ビル3階会議室

*次回は10月23日(金) 9:00-10:30 同所

◆理事会(2015年度第6回)

日時:9月25日(金) 10:30-12:00

場所:福田ビル3階会議室

*次回は10月23日(金) 10:30-12:10 同所

自然環境部会主催事業

★池辺公園定例活動(毎月第1火曜日)

日時:9月1日・10月6日(火) 9:00-12:00

場所:池辺公園(川越市池辺1302)

問い合わせ:菅野

★(仮称)川越市森林公園計画地 植物調査・保全作業(毎月第2・第4月曜日)

日時:9月14・28日・10月12・26日(月) 9:30-12:30

集合:9:30 川越南文化会館(ジョイフル)
(川越市今福1295-2)

問い合わせ:賀登(049-234-9366)

★仙波河岸史跡公園植物調査

日時:9月30日(水) 9:00-12:00

集合:仙波河岸史跡公園(川越市仙波町4-21-2)

問い合わせ:菅野

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

川越市 環境部 環境政策課

問い合わせ(Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp)

◎くぬぎ山保全管理活動

日時:9月27日(日) 10:00-12:00 (9:30受付開始)

集合場所:駒ヶ原特別緑地保全地区(所沢市大字下富1456-1)

服装:野外活動用(長袖、ズボン、帽子、タオル、軍手等)

持参品:飲み物

申込先:くぬぎ山地区自然再生協議会(埼玉県

みどり自然課内) Tel.048-830-3150

申込期限:9月24日(木)

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ:谷津弘子(Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com)

◎森林公園かんさつ会

①9月14日(月)

②9月27日(日)

要項:公園南口休憩所(入園前受付) 10:20 集合、15:30 ごろ終了解散、入園料要(団体扱い)、参加費200円、お弁当持参(レストランもあります)。雨天決行。

9月は、ススキの根元で咲くナンバンギセルの花、ススキを利用する昆虫やクモ類を観察します。みなさまのご参加をお待ちしております。

③10月7日(水)

要項:国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所(入園前

受付) 10:30 開始、15:30 頃終了解散、入園料要、参加費200円、お弁当持参。雨天決行。

10月は、秋の花を楽しみながら、新井浩司さんとクモを観察します。今回は、園内バスで西口方面に移動します。開始時間に遅れないようしてください。多くの皆様の参加をお待ちしております。

④10月25日(日) 公園主催、考える会協力

要項:公園南口から入園(入園後受付)、入園料要、参加費無料、お弁当持参(レストランもあります)。雨天決行。

センブリの花や昆虫を観察します。チョウやクモ類も探します。

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

◎おいしく・楽しく農業体験

①9月12日(土) 9:30-12:30 ごろ

②10月10日(土) 9:30-12:30 ごろ

場所：明見院(今福677) 近く

内容：農作業(B級品のお土産付き)

会費：保険代100円、クラブ員1家族1,000円(年間)

2015年度予定表

月	日	活動内容予定
9	12	ブロッコリー・キャベツの収穫
10	10	大根畑の片付け・ビニールはがし
11	14	里芋の収穫・芋煮会(お椀、箸持参)
12	12	大根収穫他
1	9	雑木林の手入れ
2	13	雑木林の手入れ 焼き芋
3	12	雑木林の手入れ 遊ぼうパン・スープ

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛 (Tel&Fax.049-242-4322) 前日まで菊地三生 (Tel.080-5546-2362)

◎「やめましょう!歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第1火曜日・第3木曜日

日時：9月1日(火)・17日(木)

10月6日(火)・15日(木) 13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第2日曜日

日時：9月13日・10月11日(日) 9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

③第4土曜日

日時：9月26日(土)・10月24日(土)

13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国応援団・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日9時より2時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに渡辺(049-242-4322)へご連絡ください。

①9月27日(日) 9:00~11:00

下流部の旭橋付近と寺尾調節池周辺清掃。旭

橋右岸集合、解散。

②10月25日(日) 9:00~11:00

□中流部の杉下橋横集合。貝塚橋まで兩岸の土手や歩道清掃。オアシス裏にごみ集め解散。

◎新河岸川起点からぐるり「川の景観と歴史の探訪」(西埼玉温暖化対策ネットワークと新河岸川広域景観づくり連絡会の共催)

日時：9月19日(土) 9:00-16:00 (小雨決行)

場所：東上線川越市駅前の交番横に集合

費用：300円(保険と解説資料代)

問い合わせ・申し込み：武田(Tel.090-2521-5770)

7月26日(日)に開かれた「第2回川の景観講演会」で、川越市内の新河岸川の現状に関心を持たれた方が多く、昔の赤間川、昭和になって開削された新赤間川、昔の舟運の名残を残す場所等を実地に見学。

9:00 集合、野田町の起点、三日月橋、星野高校横、赤間川公園、濯紫公園、田谷堰、杉下橋、浮島神社、琵琶橋、龍池弁財天、仙波河岸史蹟公園、新扇橋、旭橋、寺尾調節池、養老橋河岸記念館、河畔遊歩道等見学、16:00 現地解散の予定。

みなみかぜ いきいきたんぼの会(川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会)

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 担当：佐藤 (Tel.049-234-8500[9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: tanbo373@yahoo.co.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2)

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、楽しいことうけあいですよ♪ たんぼ活動でい

いききたいあなたを求めています!

◎農作業日

日時：9月1日(火)、4日(金)、5日(土)、8

日(火)、11日(金)、15日(火) 18日(金)、22日(火)、25日(金)、26日(土)、29日(火)
毎週火・金・土曜日 9:00-11:00

「地域交流センターみなみかぜ」に集合、農作業は近隣の田んぼです。

◎月例会

日時：9月11日(金) 11:00-12:00

◎稲刈り

日時：9月12日(土) 9:00-12:00

※雨天中止の場合は翌日13日(日)に行います。

開催有無の問合せは当日8時からお電話でお願いいたします。

◎脱穀

日時：9月19日(土) 9:00-12:00, 13:00-15:00

昔ながらの足ふみ脱穀を行います

場所：地域交流センターみなみかぜ

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一 (E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel./Fax.049-234-5269)

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬による米作りを支援し、生きものにぎわいを取り戻す活動を行っています。

◎月例会

日時：9月26日(土) 16:00-18:00

場所：伊勢原公民館(川越市伊勢原町5-1-1)

毎月第4週土曜日の16時から例会を開催しています。広く意見を求めるために会員・非会員

を問わずどなたでも参加可能です。日程が変更になる場合もありますのでお問い合わせください。

◎かわわ(川越の輪)シェア田んぼ稲刈り

日時：9月27日(日) 9:00-

お手伝いをしていただける方を募集しています。場所は小畔水鳥の郷公園駐車場近くの田んぼです。どなたでも参加可能です。

東洋大学小瀬研究室(こもれびの森・里山支援隊、笠幡水田再生プロジェクト、地域プロジェクト演習)
問い合わせ：小瀬博之 (E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532)

◎「昭和の街」ウォークラリー

①昭和の街の感謝祭(11:00-19:00)

日時：9月12日(土) 13:00-14:30, 15:00-16:30

場所：蓮馨寺境内のツアー受付集合

前半は川越蔵の会が主催するツアーに同行、後半はゼミでご案内し、「昭和の街」のよいところを探します。参加者には謝礼を進呈します。

②2015アースデイ・イン・川越 立門前

日時：10月4日(日) 10:00-15:00

場所：蓮馨寺境内のゼミブース受付

「昭和の街」と「大正浪漫夢通り」を自由散策しながら、「いいね!」と思うところを、クイズと写真撮影をしながら巡回してもらいます。参加者には箇所数に応じてエコマネー「アース」を進呈します。

◎笠幡水田再生プロジェクト 稲刈り

日時：9月27日(日) 9:00-12:00 ごろ

集合場所：笠幡水田再生プロジェクト水田

(川越市笠幡神明神社付近、座標 35.9088, 139.3991)

*詳細は東洋大学ホームページに掲載します。Facebookでも申込可能です。

◎こもれびの森・里山支援隊 森林整備施業

①森林整備施業

日時：9月5・26日(土)、10月10日(日) 9:30-12:00, 13:00-15:00

②森林環境教育「植物相調査(秋期)」

日時：10月21日(水) 9:00-12:00, 13:00-16:00
(午後は実施しない可能性あり)

③森林施業と薪割り・チップ体験会

日時：10月24日（土）9:30-12:00, 13:00-15:00

集合場所（いずれも）：東洋大学川越キャンパス

4号館こもれびの道側入口付近

*詳細：こもれびの森・里山支援隊 (<http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/>)

*中止等案内 (<https://twitter.com/toyokomorebi/>)

◎東洋大学大学祭「こもれび祭」出店・出展

日時：11月2日（月）・3日（火・祝）10:00-18:00

笠幡水田再生プロジェクトで収穫した米とおにぎりの販売と、こもれびの森・里山支援隊の「キャンパスの森体験会、木工教室、コナラ幼樹の植え付けなど」を実施予定。詳細は次号。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）、当日の携帯電話連絡（Tel.080-6584-3010）

◎伊佐沼でバードウォッチング（毎月第2日曜日）

集合：伊佐沼西岸蓮見橋 10:00、解散は集合場所で 12:00 ごろ。持ち物：筆記用具、あれば野鳥図鑑・双眼鏡・飲み物・日除け帽子。参加費：300円、高校生以下 100円（保険料・資料代）

①9月13日（日）10:00-12:00（小雨決行）

沼はシギやチドリが餌を取り、休む干潟ができます。キョーキョーキョー、涼しげに三声鳴

く声が水面から聞こえてアオアシシギが飛来したことを知らせてくれます。ツルシギ、オグロシギ、トウネンなどが訪れ、干潟で遊ぶ姿を見ることで沼の秋を感じます。

②10月11日（日）10:00-12:00（小雨決行）

渡りの途中に羽を休めるサギの仲間、シギやチドリの仲間が無事に越冬地に着くように見送ります。そして、北国からもカモを歓迎します。

広報委員会からのお知らせ

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2015年10月号（No.108, 10月1日発行予定）の掲載原稿は、9月15日（火）必着です。電子データでいただけるととても助かります。原稿と写真は編集担当共有のメールアドレス（koho@kawagoekankyo.net）にお送りください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎5階）に提出してください。

●インターネットでの情報発信

1.本紙がカラーで見られます

本会ホームページでは、バックナンバーを含めてカラーで本紙 PDF ファイルが見られます。スマートフォンにも最適化されています。ご覧ください。（<http://kawagoekankyo.net/news>）

2.Twitterでかわごえ環境ネットをフォロー

かわごえ環境ネット Twitter（[@kawagoekankyo](https://twitter.com/kawagoekankyo)）は、ブログの更新と連動してツイートします。Twitter にユーザー登録してぜひフォローしてください。 <https://twitter.com/kawagoekankyo>

3.Facebook ページ「いいね！」してください

かわごえ環境ネットは、インターネットでも積極的に情報発信しています。ブログ、Twitter に続き、Facebook にもページがあります。かわごえ環境ネットからのお知らせだけでなく、メンバー間での情報共有にも活用できます。まずは Facebook に登録していなくてもご覧いただけますが、ぜひアカウント登録を。

<https://www.facebook.com/kawagoekankyonet>

●おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー (9月2日~10月10日)

日	月	火	水	木	金	土
★: 会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●: 会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆: 理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎: 会員主催のイベント等 ○: その他 詳細は個別の記事をご覧ください		9/2	9/3	9/4	9/5	9/6
9/6	9/7	9/8 ◎9:00 農作業 (みなみかぜ)	9/9	9/10	9/11 ◎9:00 農作業 (みなみかぜ) ◎11:00 月例会 (みなみかぜ) ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会	9/12 ◎9:00 稲刈り (みなみかぜ) ◎9:30 おいしく 楽しく農業体験 ◎13:00 「昭和の 街」ウォークラリ ー
9/13 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバ ードウォッチング	9/14 ◆9:00 広報委員会 ★9:30 (仮称) 川 越市森林公園計画 地調査・保全作業 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会	9/15 ◎9:00 農作業 (みなみかぜ) ○本紙 10月号 投稿期限	9/16	9/17 ◎13:30 まち 美化啓発運動	9/18 ◎9:00 農作業 (みなみかぜ)	9/19 ◎9:00 脱穀(み なみかぜ) ◎9:00 新河岸 川起点からぐ るり
9/20	9/21 敬老の日	9/22 国民の休日 ◎9:00 農作業 (みなみかぜ)	9/23 秋分の日	9/24 ●17:00 新か わごえアジェ ンダ21 検討会 ○次期環境基 本計画及び緑 の基本計画 (原案) に対 する意見応募 期限	9/25 ◎9:00 農作業 (みなみかぜ) ◆9:00 事業運 営委員会 ◆10:30 理事会	9/26 ◎9:30 森林施業 (こもれびの 森・里山支援隊) ◎9:00 農作業 (みなみかぜ) ◎13:30 まち 美化啓発運動 ◎16:00 月例会 (かわごえ里山 イニシアチブ)
9/27 ◎9:00 新河岸 川市内流域清掃 ◎9:00 かわオシ ェア田んぼ稲刈り ◎9:00 稲刈り (東洋大学) ◎10:00 くぬぎ 山保全管理活動 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会	9/28 ★9:30 (仮称) 川 越市森林公園計画 地調査・保全作業	9/29 ◎9:00 農作業 (みなみかぜ)	9/30 ★9:00 仙波河 岸史跡公園植 物調査	10/1	10/2	10/3
10/4 ◎10:00 2015 アースデ イ・イン・川越 立門前	10/5	10/6 ★9:00 池辺公 園定例活動 ◎13:30 まち 美化啓発運動	10/7 ◎10:30 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会	10/8	10/9 ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会	10/10 ◎9:30 おいしく 楽しく農業体験 ◎9:30 森林施業 (こもれびの 森・里山支援隊)

月刊 かわごえ環境ネット 2015年9月号 No.107

発行日 2015年9月2日 (2015年9月14日修正) 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>